

キャプテンズ・ミッション 2008 年度 業務目標

業務全般

- 地域／都道府県協会で行き組む課題と、JFA が中央で解決すべき課題を整理し、それぞれがステークホルダーに問題提起を繰り返す行い姿勢でミッションの実現に向かい行動する。
- 全 47 都道府県協会で行き組んだ法人化がますます堅固な組織となるように様々な働きかけを行う。
- 支部・地区／市区郡町村協会の活動が充実するよう、様々なサポートを行う。
- 男女ともに、キッズから 1 種・シニアまでのスムーズな年代移行ができる環境作りを行う。特に、キッズ・4 種・3 種・女子の連携強化を意識して行う。
- 充実したジョイントミーティングを行う。

M 1:「JFA メンバーシップ制度」の推進

- サッカーファミリーを 2015 年までに 500 万人に拡大していくためのロードマップを策定する。
- 電子カードの試験的な導入や関係各所との調整を行い、「ファン登録」制度を開始する。
- JFA 公式 HP リニューアルと連携を取りながら、「JFA コミュニティ」を通じて審判・指導者登録メンバーへの情報提供を充実させるとともに、「JFA コミュニティ」登録者を 5 万人に増やし、より多くのメンバーにサービスを提供する。

M 2:「JFA グリーンプロジェクト」の推進

- 天然芝の整備手法や事例を積極的に収集し、気軽にできる天然芝の普及を目的とした冊子を作成し、サッカーファミリーを中心に展開する。
- 天然芝の普及を目的に、専門家の派遣・トライアルキットの展開に関する諸施策を確立する。
- 都道府県フットボールセンターの設置に関する事例集(ガイドブック)を作成・展開する。
- 都道府県協会の活動拠点の確保のあり方を模索することを目的に、指定管理者制度等に関するセミナーを実施する。

M 3:「JFA キッズプログラム」の推進

- 「JFA キッズプログラム」を都道府県内全域にて展開していくため、都道府県協会と市区郡町村協会の連携を促進する。
- 都道府県協会の活動状況を集約し、JFA 公式 HP・JFAnews 等を通じた PR や、活動カレンダー・実行予算等の分析データの展開を実施する。
- キッズリーダー養成講習会の内容をリフレッシュしていくと同時に、キッズリーダー養成事業を通じて「JFA キッズプログラム」推進のための人材確保を推進する。
- J リーグアカデミー・4 種関係者と連携し、キッズ年代から 4 種年代へ移行する子どもたちが継続してサッカーを楽しめる環境作りを推進する。

M 4:中学生年代の環境充実

- 過去 5 年間の登録チーム・選手数の増加と各種支援制度を活用した取り組みとの連動性に関する検証を行い、特に有効な取り組みを抽出・共有する。
- 1 年生前半／3 年生後半のプレー機会の確保のための活動を都道府県内全域で実施していくために、全国の先進事例を分析し、同様の活動を推進する。
- より一層の環境充実に向けて、特に全国の指導者の問題について、担当者間のコミュニケーションを促進することで、その解決に努める。

M 5:エリート養成システムの確立

- 都道府県においてキッズエリート活動が複数の拠点にて定期的に行われる様に、指導者のあり方と自主採算運営に関する好事例を紹介し、都道府県内で共有してもらう。
- 指導者養成事業との連携のもとキッズエリートの指導ガイドラインを発行し、キッズエリート活動に関わる指導者を向上させることで、全国のキッズエリート活動の質が高まる様働きかける。
- キッズ年代と U-12 トレセン・3 種年代にて一貫したエリート活動が行われる様に、キッズエリートの担当者が、47FA ユースダイレクター・4 種関係者・Jリーグアカデミーと連携していくことを推進する。
- 2009 年度には 40 都道府県、2010 年度には全ての都道府県がキッズエリート活動を実施できる様、未着手の都道府県協会に対してアプローチする。

M 6:女子サッカーの活動推進

- 「キッズ・4 種・3 種・女子の連携」を意識し、支援制度対象 FA を中心に、小学生年代の女子のプレー環境のあり方について具体策を検討する。
- ジョイントミーティングを活用し、「M3.JFA キッズプログラムの推進」や「M7.フットサルの普及推進」の担当者との連携を図り、グラスルーツの普及を推進する。
- 高校女子サッカーの全国高等学校体育連盟への加盟を実現する。

M 7:フットサルの普及推進

- 生活圏内でのファミリーフットサルの定例開催を推進する。
- ジョイントミーティングを活用し、「M6:女子サッカーの活動推進」の担当者との連携を図り、グラスルーツの普及を推進する。
- 民間施設の管理運営者とのコミュニケーションを図り、更なるフットサル人口の拡大という共通テーマのもと、新たな施策を検討する。

M 8:リーグ戦の推進と競技会の整備・充実

- 「2・3 種年代の年間・能力別都道府県リーグ」の取り組みをサポートするとともに、好事例を共有する。また、準備段階である都道府県においては、トライアルのリーグ戦が実施される様、都道府県協会関係者と協働し、その実現に努める。
- 全国大会をはじめ、競技会の更なる整備・充実のため、都道府県協会に対して 2007 年度に実施したアンケート結果を反映し、2005 年に発行した「JFA 試合運営ガイドブック」・「競技ガイドライン」の改訂版を発行する。

M 9:地域／都道府県協会の活動推進

- 新たに実施する「JFA フットボールデー」制定推進事業が、より多くの都道府県にて実施され、長期間充実した支援制度となる様、課題抽出や好事例紹介を積極的に行う。
- CHQ タスクフォース(支部・地区／市区郡町村協会の組織機構改革と未登録チームの登録推進)を継続するにあたり、ジョイントミーティングを新設するとともに、関係者間のコミュニケーションの機会を設け、具体的な施策を立案し、推進する。
- 過去 2 年間発行した都道府県チャートおよび都道府県収支状況について、より重要な指標となる様、精度を高めて発行する。
- 他世代との交流等、競技会の開催に留まらない新たな活動機会を確保し、シニア年代の活性化を図る。
- 都道府県協会事務局体制の更なる充実に向けて、給与体系ガイドラインを整備する。

M10: 中長期展望に立った方針策定と提言

- 「JFA の約束 2015」を実現するための「アクションプラン 2015」の見直しを行う。
- 「JFA2005 年宣言」の浸透／PR ツールを制作・展開し、ツール活用ガイドラインを策定することにより、より効果的に各種ツールが利用される様な仕組みを整備する。

M11: スポーツマネジメントの強化

- SMC 本講座について、2007 年度のカリキュラムを精査し、より良い講座作りに努めるとともに、より確実な事務局運営が行える様、その推進体制を整える。また、SMC 本講座のリフレッシュ制度を確立し、各種リフレッシュ講座を実施する。
- SMC サテライト講座について、その本格的な展開に向けて、2007 年度トライアル版のカリキュラムを精査するとともに、インストラクター養成の仕組みを含めた推進体制を確立し、具体的な展開に繋げる。
- SMC 広報冊子の展開や JFAnews をはじめとした広報活動を行い、SMC の認知を高めていく。
- SMC E-learning 講座のあり方の検討を行う。
- 日本体育協会「クラブマネジャー養成講座」、Jリーグ「GM 講座」との関係性を整理し、協働のあり方を検討する。

以上